

氏名・学年	〇〇 〇〇 （〇〇小学校 2年 男）		本人の願い	・友達とたくさん話したい。	記入者	〇〇 〇〇
保護者の願い	・正しい発音ができるようになってほしい。 ・学校で友達と仲良く活動できるようになってほしい。					
長期目標	・音への意識を高め、あらゆるコミュニケーション手段を使って、自分の考えを表現できるようになる。					
区分	児童の実態	短期目標	指導内容・指導方法（手立て）	評価		
健康の保持	・口蓋裂の既往歴があるため、歯磨きがしにくく、むし歯になりやすい状況がある。（2）	・口の中の衛生に気を付けて、磨き残しがないように磨くことができる。	・砂時計を使って、鏡でチェックしながら3分間磨いたり、月に1度、染め出し液を使ったりして、歯磨き指導を行う。	・染め出し液を使ったことにより、磨き残しが目に見えて分かり、より丁寧に歯磨きをすることができるようになってきた。		
心理的な安定						
人間関係の形成						
環境の把握						
身体の動き						
コミュニケーション	・サ行、ラ行などの発音が不明瞭な場合があり、練習中である。（2）  ・友達とかかわりたい思いはあるが、発音が不明瞭なために、言いたいことが伝わりにくいことがあり、すぐにあきらめてしまう。（2）	・苦手な発音の音への意識を高めることができる。  ・話しことばに限らず、あらゆる手段を使って伝えたい思いを相手に伝えることができる。	・かるたやしりとりなどの遊びを取り入れ、音への意識を高められるようにする。  ・表情や視線、ジェスチャーや指差し、写真や絵カード、記号などを使って、自分の思いを伝える経験を積み重ねる。	・絵カードを用いたしりとりでは、「さかな」「なな・な・な…」と言いながら次のカード「なす」を探すようにすると、音が意識できるようになってきた。  ・身振り手振りでも伝えられることを学ぶと、表情が明るくなり、ジェスチャーを交えて楽しそうに話す場面も増えてきた。		

※自立活動の区分・項目は、全て記入する必要はなく、児童生徒の実態に応じて選択します。

※該当する自立活動の項目を（ ）内に表しています。

教科等	児童の実態	短期目標	指導内容・指導方法(手立て)	評 価
国語	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学年相応の基礎的な学力は身に付いている。</li> <li>・発表場面では、声を出して発表することに苦手意識があり、消極的になる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分にあった方法を選び、発表をすることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ICT機器を活用したり、書いたものを提示して発表したり、〇×形式の札をあげたりと様々な表現方法を提示し、選択できるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学級全体で発表方法を共有したり、事前に紙に書いたものを示したりすることで、自分の考えが友達に伝わり、発表しようとする気持ちが以前より育ってきている。発表方法の共有は、他の児童にとっても良い流れができ、本児の理解につながっている。</li> </ul>
その他 特記事項				

※各教科については、児童生徒の実態に応じて選択します。